

新型コロナウイルス感染症 対策ガイドライン

Ver3.0 2023年3月27日更新

公益社団法人 日本ビリヤード協会



【本ガイドラインについて】

新型コロナウイルス感染防止のため、主催者（NBA・NBA各支部・NBA加盟団体）が実施する事項や参加者が遵守すべき事項を、本ガイドラインに記載しています。

2023年5月より感染症法に基づく二類感染症から五類感染症に位置づけされること、また厚生労働省が発表し3月13日から実施されている、「マスクの着用について」を受けガイドラインを改訂いたしました。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00001.html

また、本ガイドラインを更新するにあたり、日本スポーツ協会による「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン 令和4年12月26日改訂版及び令和5年3月9日追補版」を参照しております。

「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（2022年12月26日改訂版）」

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/somu/doc/guideline_R4_1226.pdf

「スポーツイベントの開催における感染拡大予防ガイドライン 令和5年3月9日追補版」

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/somu/doc/guideline_R5_0309.pdf

【主催者基本対応項目】

競技大会開催における感染防止対策は開催地である行政の基本方針に反しないことが大前提となります。また、各会場にて設定されている感染対策ポリシーに従うことも必要となります。主催者は事前に会場管理者と協議の上、各競技大会の感染対策について出場者に十分な告知が必要です。

マスク着用について:

これまで屋外では、マスク着用は原則不要、屋内では原則着用としていましたが令和5年3月13日以降、マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となりました。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないようにアナウンスされていますが、一方で感染防止対策としてマスクの着用が効果的であると判断された場合にはマスクの着用は推奨されています。主催者は大会の規模、観戦者の有無、会場の物理的構造及び行政の基本方針と会場側のポリシーを勘案して競技大会ごとの感染防止対策の制定が必要となります。

＜大会の企画及び出場者募集時＞

1. 下記条件に適合する場合の参加見合わせを求めることの周知徹底。
大会前日より7日間に
 - ・平熱を超える(37度5分以上)発熱がある。
 - ・風邪の諸症状(咳・のどの痛み・頭痛・腹痛・下痢など)がある。
 - ・倦怠感や呼吸困難の症状がある。
 - ・嗅覚及び味覚異常がある。
2. 参加者への下記項目の周知徹底。
 - ・主催者が決めた感染防止対策等への遵守。
 - ・主催者が感染防止策にて発する指示には、緊急的な指示も含め従うこと。
 - ・大会終了後、2日以内に新型コロナウイルスに発症した場合には、速やかに大会主催者宛て報告すること。
3. 観戦有りでの開催
 - ・体温チェック等による入場可否について検討する。
 - ・観客席の物理的配置により席の減数及びマスク着用の検討。

【主催者基本対応項目 -3】

＜大会当日の受付＞

1. 受付には手指消毒剤を設置する。
2. 非接触体温計の設置を検討する。
3. クラスタ発生時の対応のため、出場者の氏名・連絡先は個人情報の取扱いに留意の上、適正に保管する。

＜競技会場内の換気＞

1. 会場の換気設備などを適切に運転して、十分な換気対策を実施する。
2. 選手控室、スタッフ控室ほか関係者の出入りする部屋について、十分な換気対策を実施する。
3. 会場の管理者と換気については密に連絡を取って適切な換気対策を実施する。

【競技者遵守事項】

競技大会開催における感染防止対策は開催地である行政の基本方針に反しないことが大前提となります。また、各会場にて設定されている感染対策ポリシーに従うことも必要となります。主催者発信の感染防止策をよく確認して出場してください。また主催者及び競技大会本部より発せられる指示に従ってください。

マスク着用について:

これまで屋外では、マスク着用は原則不要、屋内では原則着用としていましたが令和5年3月13日以降、マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となりました。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないようアナウンスされていますが、一方で感染防止対策としてマスクの着用が効果的であると判断された場合にはマスクの着用は推奨されています。主催者は大会の規模、観戦者の有無、会場の物理的構造及び行政の基本方針と会場側のポリシーを勘案して競技大会ごとの感染防止対策を制定しております。マスク着用についても主催者及び競技大会本部より発せられる指示に従ってください。

【競技者遵守事項 -2】

＜競技会参加時の感染防止策＞

1. 下記条件に適合する場合の参加見合わせを求めます。
大会前日より7日間に
 - ・新型コロナウイルス感染症と診断されている。
 - ・平熱を超える(37度5分以上)発熱がある。
 - ・風邪の諸症状(咳・のどの痛み・頭痛・腹痛・下痢など)がある。
 - ・倦怠感や呼吸困難の症状がある。
 - ・嗅覚及び味覚異常がある。
2. 手指の消毒。
 - ・手指の消毒剤が設置されている個所では必ず実施する。
3. マスクの着用
 - ・個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となるが、競技大会ごとに設定されている感染防止策が優先します。設定されている感染防止策を確認の上従ってください。
 - ・状況によりマスクの着用をお願いする場合があります。マスクは必ず持参すること。
4. 控室等を含む競技場内での留意事項
 - ・それぞれの場面において感染対策に十分に配慮すること。

【競技者遵守事項 -3】

5. 競技中の感染対策

- ・チョークやキュータオルの共用はしない。
- ・花粉症等で咳やくしゃみが出る場合には必ずマスクを着用する。

6. 飲食など

- ・飲み物などは蓋のあるボトルを使用すること。
- ・食事はお互いの間隔をとって、向かい合っの食事は極力避けること。

7. 大会終了後

- ・大会終了後、2日以内に新型コロナウイルスに発症した場合には、速やかに大会主催者宛て報告すること。

<本ガイドラインに関する注意事項及びお願い>

新型コロナウイルス感染症は一時期の猛威は収まりつつあるものの、今後の状況については予断を許しません。よって、本ガイドラインに準拠することが万全の備えとなつて、万一の事態に協会としてその責任を担保し得るものではありません。現時点ではビリヤードに関わる加盟団体・支部の皆様方の協力と行動が不可欠な状況です。皆様方のご配慮の程、切にお願い申し上げます。

お問い合わせ先等

公益社団法人 日本ビリヤード協会 事務局
〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
Japan Sport Olympic Square 704



TEL:03-5770-7911 / FAX:03-5770-7913
E-Mail: headoffice@nba.or.jp
URL: <http://www.nba.or.jp/>